

住民の皆さんができること、行政に望むことについて意見交換しました。

	住民ができること	× (かける)	行政にしてほしいこと
災害への備え 	<ul style="list-style-type: none"> 普段から交流をもっておく（楽しいこととつながっておく） 日頃から顔の見える関係づくり 体力の維持 地域全体での防災訓練 建物の耐震化（民間アパートも） 家具の転倒防止 避難場所、避難経路、避難の手段などの見直し 避難所スペースの構え 	自助・共助・公助	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練（単自治会にまかせずリードしてほしい） 学校以外の公的避難所を確保しておく（学校再開に向けて） 事前復興の周知、合意（地権者など） 様々な制度の周知と迅速な対応 耐震化の補助金の拡充 復興体制づくり（他からの受援、手続きの簡素化） 
被災時の助け合い	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担（できることを助け合う） 避難所の運営 名簿（緊急連絡先など）の作成・活用 		<ul style="list-style-type: none"> 個人、事業者への補助金の充実 メンタルケア 
復興まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 復興の進め方を事前に勉強 		<ul style="list-style-type: none"> 保育園、学校を早く建て直す（大人が動けるように） 住居の再建 仮設住宅の早期確保 復興に関する事業が速やかに行えるような補助金の確保 水と電気、医療など生活に関する復旧作業
その他	<ul style="list-style-type: none"> 車中泊を経験しておく 外からの支援が来ない時の備蓄（拠点） 家庭菜園 百歳体操など、普段の延長で考える楽しい防災 		<ul style="list-style-type: none"> 災害ゴミの処理 自衛隊の支援（風呂） 

●お知らせ

ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。



●お問い合わせ先

高知市 防災政策課 事前復興まちづくり担当
 TEL : 088-823-9055 FAX : 088-823-9085
 Mail : kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.2 R8.3.17

潮江地区 事前復興まちづくり計画 第2回ワークショップ (潮江南小学校区)を 開催しました！

地域の方
11名参加

意見交換1は2ページ、意見交換2は3ページ、ワーク4は4ページに表示しています。

2月7日（土）、潮江南小学校で、潮江地区事前復興まちづくり計画第2回ワークショップ（潮江南小学校区）を開催しました。意見交換1では「潮江地区の復興ビジョン」、意見交換2では前回の復興パターンから地域の方の意見を反映した「修正復興パターン」、ワーク4では「速やかに復興するために必要なこと」について、みんなでお話ししました。



※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの進め方・内容

第1回	R7.11.9開催	済
ワーク1	潮江の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること	
ワーク2	復興パターン2案について	
ワーク3	楽しくなるような未来のまちの想像する	
第2回	R8.2.7開催	
意見交換1	復興ビジョンについて	
意見交換2	修正復興パターンについて	
ワーク4	速やかに復興するために必要なこと	
第3回	令和8年6月頃開催予定	
意見交換3	最終案について	
ワーク5	災害が起きる前からできること	



各地区での第1回のご意見から復興ビジョンを3案作成し、意見交換しました。

○ワークショップをもとに考えたビジョン案

案1 (第1回ワークショップで提示済み)

『つながる安心 自然と共に生きるまち』

交通ネットワークの整備や都心への近接性を活かし、交通の利便性と人々のつながりを確保するとともに、災害に対して安全安心で豊かな自然環境と親水空間を大切にしたいまちを目指します。

案2 (ワーク1の意見を踏まえた案) 「防災」と「コミュニティ」を主軸とする案

『深まる絆 災害にも強く、安心な暮らしを未来へつなぐまち 潮江』

地域の絆を育み、共助力と防災力を高めながら、誰もが安心して暮らし続けられる災害にも強い潮江を未来へ受け継ぐ、持続可能なまちを目指します。

案3 (ワーク1の意見を踏まえた案) 「自然」、「都市」、「歴史」を主軸とする案

『自然と都市が調和し、歴史の魅力に溢れたまち ~山・川・海と共に歩む潮江~』

都市の利便性と山・川・海の豊かな自然が調和する潮江で、受け継がれてきた歴史や文化資源を生かしながら、自然・都市・歴史が共に輝く魅力ある暮らしを創るまちを目指します。

○各班で議論したものを、発表していただきました！

グループ1 案1と案2の両方を評価

- ・案1は短くて簡潔である点が良い。
- ・潮江地区は「自然」災害と共に生きるまちであるため、案1が適している。
- ・案2の「コミュニティ」も重要である。

グループ2 案3を評価

- ・潮江地区は筆山・高見山に囲まれており、山という「自然」は唯一無二であるため、案3が適している。この山はハイキング場所となり、災害時には避難場所となる。
- ・潮江地区の特徴が分かるようなワードを入れたい。

グループ3 案2を評価

- ・「防災」を主軸にしている点が良い。
- ・潮江地区はコミュニティが強いため、案2が適している。
- ・「歴史」はあまり重要でない。

各地区の意見をまとめ、第3回ワークショップで最終的に潮江地区のビジョンをお示しします。

二線堤の位置に関する修正復興パターンについて、意見を共有しました。
→それぞれ良いとする意見が出ました。

A案

- ・潮江南小学校区だけで考えると、復興期間が一番短いA案がいいと思う(潮江地区全体を考えるとC案がベスト)
- ・事業費が最も安いので、他の事業にもお金を回すことができるのではないか

B案

- ・住民との合意形成が難しいのではないか
- ・潮江地区全体がコンパクトシティ化されるため、より密なコミュニティが形成できるのではないか

C案

- ・企業やわんぱくこうちの外側に整備するため、潮江地区全体を守ることができる

その他の意見

- ・災害後は地盤沈降も起きるため、二線堤のルートは、地盤の高低差も考慮すべきではないか
- ・液状化も考慮すべきではないか

香南市 東部自動車道
(二線堤イメージ)

第3回へ意見反映